



し 知りたい 好奇心 こうきしん

世の中には不思議で分かりづらいことがたくさんあります。自然、科学、歴史など、詳しい先生に解き明かしてもらいましょう。

甲府盆地の生活支える 地下水が豊かな「扇状地」

甲府盆地にはたくさんの扇状地があります。例えば、甲府市には荒川扇状地・相川扇状地。南アルプス市には御勅使川扇状地。甲斐市と中央市には釜無川扇状地。笛吹市には金川扇状地・浅川扇状地・京戸川扇状地。甲州市には笛吹川扇状地・重川扇状地・鬱柳川扇状地。山梨市には笛吹川扇状地があり、多くの人が扇状地の上に住んでいます。今日はその扇状地とそこで水の流れについてお話しします。

川が造った地形

台風などで洪水が起こった。

とき、大量の土砂が川の水とともに流されていくのをニュースなどで見たことがあると思います。山の中は傾斜が急なため川の流れはとても速く、砂や石が下流に流れています。川が山地から平地に出るところでは、傾斜がゆるくなり

川の流れが遅くなります。川の流れは遅くなると砂や石を運ぶ力も減ります。そうすると、そこまで運ばれてきた石や砂が川底に沈みます。それが谷の出口にまんべんなく積もってできた地形が扇状地です。

扇状地の山に近い所では大粒の石や粗い砂が積もっています。一方、細かい砂は軽いため、遠くまで運ばれて扇状地の低い所まで流れ、積もって水が通りにくい地質ができます。

水の利用は注意

扇状地は、山に近い所は水が染みやすい地質のため、川の水や雨が地下へ染み込んで地下水になります。この地下水は地下を流れていって扇状地の低い所までくると、水を通しにくい地質が出現する

とき、大量的土砂が川の水とともに流されていくのをニュースなどで見たことがあると思います。山の中は傾斜が急なため川の流れはとても速く、砂や石が下流に流れています。川が山地から平地に出るため流れが遅くなります。ところでは、傾斜がゆるくなり

川の流れが遅くなります。地下水に押されて圧力を持ちます。そこで地表までどく穴やすき間があると、その地下水はそのすき間を上がつていて、地表に噴き出します。これが扇状地のわき水や自噴水です。中央市（旧田富町）や南アルプス市（旧甲西町）にはそうした自噴水が多くみられます。

このように扇状地には豊富な地下水が流れています。そこに住む人々はこの地下水を利⽤して生活をしています。扇状地は水がよく染み込む所があるので、汚染物質をまいたり、放置すると地下水を汚してしまいます。また、地下水を使いすぎると無くなってしまいます。こともあります。私たちには目に見えない地下のことをよく調べて地下水を汚したり、枯らしたりしないよう気をつけなければなりません。